

第2期計画の基本的な考え方について（案）

1 めざす人間像、子ども像について

第2期計画においても、「教育基本法の基本理念」と本計画の上位計画である「高槻市総合計画」を踏まえ、どのような資質・能力を子どもたちに育成していくのか考えていく必要がある。

高槻市総合計画では、めざす将来の都市像のひとつに「子育て・教育の環境が整ったまち」を掲げ、学校教育をはじめ、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、社会総がかりで子どもを育てる環境の構築をめざしている。

現行の第1期計画においては、「めざす人間像」を住みよい社会を形成するための社会参画力が育まれた成熟した人間の姿、「めざす子ども像」を変化の激しい社会の形成に参画するため、教育がめざす子どもの姿、とした。

そして、本市の状況を踏まえた「めざす人間像」「めざす子ども像」及び「つけたい力」を以下の通り設定している。

* 高槻のめざす人間像

自らの能力や可能性を最大限に伸ばすとともに、市民としての自覚と責任を持ち、創発性のある社会づくりに貢献できる人

* 高槻のめざす子ども像

- た**のもしい子 自分をしっかり見つめ、自己の向上をはかるとともに、まわりの人の個性や立場を尊重し、協力して課題を解決する資質・能力を育成します。
- か**しこい子 基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、これらを活用して、自ら学び、論理的に考え、主体的に判断する学力を育みます。
- つ**ながる子 人と社会とつながり、目標を共有しながら、協力して実践する資質・能力を育成します。また、自然、伝統文化とつながり、郷土への誇りを持ち、その発展に貢献しようとする態度を養います。
- き**わめる子 夢や志を持ち、困難にぶつかってもあきらめないうで、粘り強く着実にやり抜く態度を養います。

* つ け た い 力

高槻の子どもたちに、つけたい3つの力

- ①課題を解決する知恵と主体的に学び続ける力
- ②進取の精神を持って誠実に行動する力
- ③互いの違いを認め、協働・共生する力

社会参画力

生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、急速に変化しており、予測困難な時代を生きていく子どもたちが、自分たちの良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。

そして、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、学校と社会との連携及び協働によりその実現を図っていくことが重要である。

2 目標と施策について

●子どもの社会参画力を育む3つの目標

「確かな学力の育成」・「豊かな心の育成」・「健やかな体の育成」

●学校・家庭・地域の教育力を高める3つの目標

「学校力の向上」・「家庭力の向上」・「地域力の向上」

【構造図】

